

特集

子宮収縮抑制薬の長期投与はやめられるのか？
—切迫早産管理のエビデンスと実践—

企画：松村謙臣，川崎 薫，森内 芳，葉 宜慧

1. 本邦における早産児医療のレベル	河井昌彦	681
2. 切迫早産における子宮収縮抑制薬の有効性の世界的なエビデンス	鯨島大輝ほか	685
3. 切迫早産におけるリトドリン塩酸塩と硫酸マグネシウムの 有害事象	大槻克文	691
4. 切迫早産に対するカルシウム拮抗薬のエビデンス	小澤克典ほか	697
5. 早産予防のためのプロゲステロン製剤のエビデンス	中井章人	703
6. 切迫早産における安静のエビデンス	川合健太ほか	713
7. 切迫早産における細菌感染対策のエビデンス	米田 哲	719
8. 切迫早産に対する羊水検査のエビデンス	長谷川雅明	725
9. 多胎における切迫早産の管理方法とエビデンス	村越 毅	729
10. 切迫早産の病態仮説と管理方法の実際 —当院が行ってきた管理方法とその効果①—	仲村将光	735
11. 切迫早産の病態別の対応を目指して —当院が行ってきた管理方法とその効果②—	松島実穂ほか	743
12. Maintenance tocolysis を行っている施設の産科医が short-term tocolysis に対して抱く懸念 —当院が行ってきた管理方法とその効果③—	林 周作ほか	749
13. 切迫流産に対するエビデンスに基づく管理方法とは？	千草義継	755
14. オキシトシン受容体拮抗薬のエビデンス	室月 淳	761
15. 切迫流早産に対して保険適用外薬を用いるための手続き	森内 芳ほか	767

WEB アンケートにご協力ください

読者アンケート（所要時間約3分）にご協力いただいた方の中から抽選で毎月10名の方に図書カード1,000円分を贈呈いたします（当選者の発表は贈呈品の発送をもって代えさせていただきます）。

アンケート回答はこちらから ➡ <https://forms.gle/RZMT6aqQoFoAKdJu8>



■ シリーズで学ぶ最新知識

産婦人科領域の周術期管理

第4回 低侵襲手術に合わせた疼痛管理の実際

伊藤 敏 谷ほか

773

■ 今日の話

卵の老化に伴うミトコンドリアの局在異常

中戸沙也歌ほか

779

■ 臨床経験

子宮全摘術後の膈上皮内腫瘍に対して膈壁部分切除を施行した
7症例の検討

竹内祐美子ほか

785

■ 症例

胎児期に全身多発性高エコー輝度腫瘍を呈した先天性脈管
異常の1例

末永美祐子ほか

793

海外文献から

京都大学大学院

792

- PD-L1 陽性再発もしくは転移性子宮頸癌を対象に、シンチリマブと
アンロチニブ併用療法の多施設共同単群、第Ⅱ相試験の有効性と安全性
- 再発卵巣がん患者を対象にした症状と QOL 管理における
WRITE Symptoms 介入の有効性：NRG Oncology/GOG-0259 試験

学会案内

696

投稿規定

803

次号予告

804